

研究テーマ

自ら工夫し、運動の喜びを味わい、運動能力を高める指導の工夫はどうあればよいか。

～気づき・考え・活動する体育科授業を中心にして～

始良市立三船小学校

〒899-5403

始良市増田 399 番地

TEL 0995-65-2371

FAX 0995-65-2835

1 実施内容（計画、活動、対象、主な内容等）

(1) 研究計画

平成 24～25 年度の 2 か年間『たくましいかごしまっ子』の育成を目指し、研究を進めた。

	1 年目：体づくり運動を中心にして	2 年目：気づき・考え・活動する体育科授業
子どもの姿	<ul style="list-style-type: none">・運動の特性を理解し学び合う姿・固定施設等で運動する姿・運動好きな子どもの姿・親子で体力づくりに取り組む姿	<ul style="list-style-type: none">・シンキングタイムで伸びる姿・チャレンジかごしまに挑戦する姿・三船の森コースで体力を高める姿・家庭や地域で運動に取り組む姿

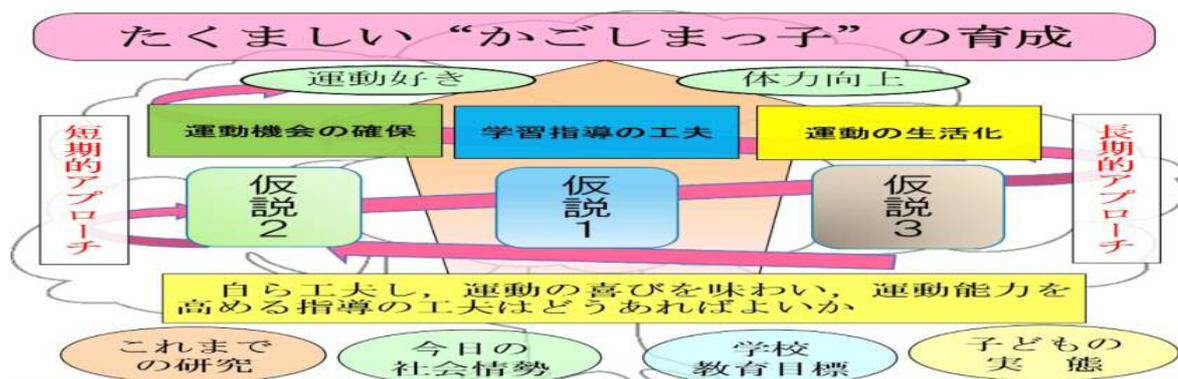
(2) 研究の仮説と視点

「気づき、考え、活動する体育学習」をイメージして研究主題に迫っていくことにした。

研究の仮説と研究の視点	
仮説 1 学習過程の工夫	
<ul style="list-style-type: none">・ 2 年間を通した指導計画の策定・ 指導と評価の一体化	<ul style="list-style-type: none">・ 運動の特性を生かした授業・ 気づき、考え、活動する学習過程の工夫
仮説 2 運動機会の確保	
<ul style="list-style-type: none">・ 体力テストカルテの活用・ クラスタタイム（朝活動）の充実	<ul style="list-style-type: none">・ チャレンジタイムの充実・ 朝のスポーツタイムの活用
仮説 3 家庭や地域との連携	
<ul style="list-style-type: none">・ 親子でできる運動の紹介・ 学校保健委員会との連携	<ul style="list-style-type: none">・ 『貯筋がんばりカード』の活用・ 校区体育振興会との連携

(3) 研究の全体構想

教えて考えさせる指導の充実を目指した全体構想を考えた。



(4) 研究の主な内容

ア 学習過程の工夫 2 年間を通した指導計画の策定

授業を展開する中で、6 年より 5 年がレベルの高い学習をしたり、前学年で学習した内容と変わらなかったりするなどの反省から、学年間での指導内容のばらつきを防ぐために、各単元において 2 年間の学習内容が分かる指導計画を工夫し作成した。

イ 体力テストカルテの活用した運動機会の確保

児童は「体力ナビ」を活用し、自己の体力を客観的にとらえ、6 年間の体力テストの結果を

記録し、体力の伸びやバランスのとれた体力づくりの指標としている。職員は、結果を経年変化やTスコアにして、チャレンジタイム等で高めたい具体的な体力を取り上げ、一年間の体力づくりの計画を立てている。

ウ 家庭や地域との連携（親子でできる運動の紹介）

「親子でできる運動の紹介」小冊子を作成し、家庭へ配布した。一家庭一運動として、年間を通して取り組むよう啓発している。

2 実施上で工夫したこと

(1) 職員研修の有効活用

ア 積極的な講師招聘による研究の深化

県総合体育センター等の指導により、最新の教育情報や研究の方向性を確認しながら、研究を深めていくことができた。

イ 運動のコツを体得させる指導の在り方を視点にした模擬授業の実施

教師自らが運動のコツを体感する実技を通して、指導方法のポイントを具体的にイメージすることができた。

(2) 運動の生活化を目指した啓発の工夫

ア 学校保健委員会において、実技を取り入れた活動を行った。

イ 家庭でできる運動を紹介するための冊子を作成した。

ウ 地域のスポーツ大会等への子どもの参加を促進するためのパンフレットを作成した。

3 主な成果

(1) 児童の姿の変容

ア 体育学習における変容

チャレンジタイム等で運動量を確保することができ、子どもたちは、運動する喜びや達成感を味わいながら活動するようになった。

イ 教科外体育における変容

固定施設を使った遊びが多くなり、外遊びや運動する子どもが増えた。

ウ 家庭や地域での変容

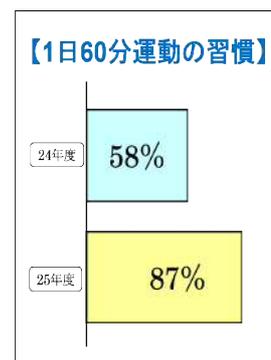
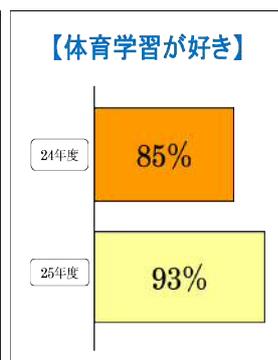
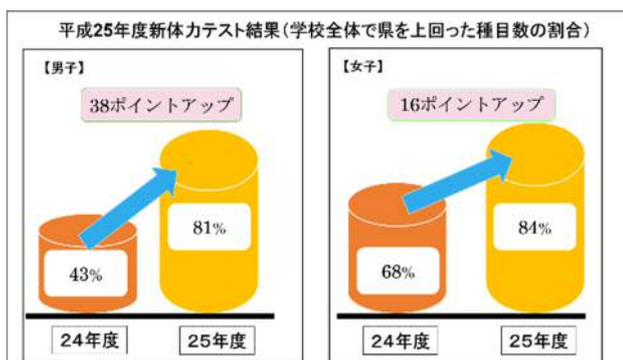
親子運動に取り組む家庭が増え、子どもと歩いて登校する保護者が見られるようになった。

(2) 運動習慣、体力テスト等結果の変容

ア 朝スポや昼休みの変容

一校一運動のなわとびやチャレンジかごしまに積極的に取り組むようになった。

イ 体力テスト結果に見る変容



4 実践の様子

【チャレンジタイム（授業始め）】



わずか5分間であるが、積み重ねは大きな運動量になる。いくつかのパターンを作成中

【チャレンジかごしまの取組】



長縄エイトマンに挑戦中

【日曜参観（親子CM体操）】

子ども以上に、保護者が自分の健康保持のために動いていました。広がり期待！



四年生1年生、
レッツ短なわとび

【子どもの声：4年 女兒】

チャレンジかごしまに取り組んでチャレンジかごしまのなわとびをしました。わたしは、最初は、長なわでこけてばかりで、5・6回しかとべませんでした。でも、友達に手伝ってもらいながら練習を続けたらだんだん上手になってきました。そして、次のチャレンジのとき、みんなと力を合わせて36回もとべました。わたしは、こんなにとべたのは、みんなのおかげだと思いました。とってもうれしかったです。なわとびが楽しみになりました。



【体力テスト結果の推移（網掛けは県平均を上回る）】

平成21年度入学生（現5年生）の推移

女子		2年	3年	4年(5月)	4年(11月)	5年(5月)	5年(10月)
握力	本校	10.1	12.1	14.2	15.8	16.4	16.9
	県比	98	99	107	119	106	110
上体起こし	本校	12.3	13.6	19.6	19.6	21.7	19.1
	県比	92	91	126	126	123	108
長座体前屈	本校	33.4	34.6	29.9	34.9	29.6	42.0
	県比	112	108	93	108	83	118
反復横跳び	本校	27.6	30.6	34.6	37.4	41.7	46.6
	県比	93	92	103	110	112	125
20mシャトルラン	本校	18.1	31.0	40.6	42.3	48.1	56.0
	県比	86	113	133	139	109	149
50m走	本校	11.3	10.6	10.1	9.9	9.9	9.6
	県比	97	98	100	102	98	101
立ち幅跳び	本校	121	127	130	135	143	146
	県比	102	100	96	100	100	102
ソフトボール投げ	本校	8.8	12.3	14.3	13.8	15.5	18.8
	県比	111	126	118	116	105	127

全学年、これまでの結果をデータ化している。自分なりの目標を数値として立てやすくした。左は現五年生の推移である。